



可部地区社会福祉協議会だより

# 福祉 あけぼの

## 123号

編集発行  
可部地区社会福祉協議会  
広報部会  
印刷所 可部印刷(株)

正しい情報をキャッチし、まずは誰かに相談できる環境を  
安佐北警察署訪問



### 犯人がよく使う言葉 特殊詐欺のキーワード集

「有料サイト利用料金」名目の詐欺(架空請求詐欺)が増加中!

最終通告です。  
有料動画観覧履歴があり、料金を滞納されています。  
至急連絡なき場合、法的措置に移ります。  
03-0000-XXXX



名義貸しは犯罪だ	逮捕される	裁判になる
個人情報が出ている	財産が狙われている	財産を没収する
携帯電話の番号が変わった	携帯電話をもってATMへ	有料サイトの未納がある
お金を宅配便で送って	お金を受け取りに行く	コンビニの電子マネーで支払って
お金を振り込んで	キャッシュカードを預かります	あとで返金する



安佐北警察署生活安全課 田中裕一郎警部補  
民間の会社員から「直接人の役に立つ仕事がしたい」と、警察官に転身。昨年より安佐北警察署勤務。とてもわかりやすく親切にお話しいただきました。

三月九日、あけぼの編集部は、可部地区防犯組合宮本昌明会長と共に、安佐北警察署生活安全課の田中裕一郎警部補にお話を伺いました。一月に起きた町内の無差別殺傷事件は、私たちに大きな衝撃を与えました。この身近に発生した事件を期に、防犯について考えます。

**「パンク詐欺」に注意!**  
振り込め詐欺に代表される特殊詐欺は、ニュースや配布物などで、さまざまに注意を呼びかけていますが、ますます手口が巧妙になってきています。銀行のATMからの振り込みは、振り込み金額の上限設定や、金融機関窓口での職員の阻止が、大きな防犯力となっています。一方、新しいATMを使うよう指示の注意を促す人の存在がないので、要注意です。さらにコンビニで「ギフトカードを買え」「収納代行サービスを使って番号をレジで言え」などの手口も増えています。また、スマホなどに身に覚えのない請求のメールが送られてきて、ビックリして相手に連絡して、詐欺にあうケースが、高齢者に限らず、若い人にも多いようです。突然、裁判の通知が

**地域の防犯力を高めよう**  
私たちは、警察や金融機関の注意を呼びかける情報に、アンテナを張っていることが必要です。また、隣近所や、口コミで、情報を共有することが大きな防犯力になること。防犯教室などにも参加して、そこで得た情報を多くの人に広げてください。町内会に未加入の世帯も増えていますが、隣近所での情報交換が、地域の安心安全を担保します。何かあった時にも気軽に相談できます。

安佐北地区の犯罪件数は、5年前との比較で5割減少しているそうです。これからも暮らしやすく、安全な可部を目指したいですね。

### おくやみ

次の方々に香料をお供えし、謹んでお悔み申し上げます。

(平成29年8月29日～平成30年3月31日現在)

- 沖増 時子 様 可部町勝木 (大野)
- 坂本 雪枝 様 可部3丁目 (川原)
- 上森 厚子 様 可部6丁目 (緑ヶ丘一区)
- 久保 裕子 様 可部8丁目 (九品寺)
- 佐々木勝頼 様 可部3丁目 (城表)

### 編集後記

**黒田 正**  
平昌五輪が終わりました。日本チームのメダル獲得数も史上最高となりました。ケガから復帰して五輪2連覇という偉業を達成した選手、姉妹でメダルを獲得した選手に、日本中の人たちが感動と喜びで包み込まれました。そして、参加したすべての選手たちが自分のもてる最高の技術と最高の精神力で競技に臨み、人々の心に感動を与えてくれたことに「ありがとうございます」と言いたいです。

**一川初子**  
3月9日に「可部の防犯を考える」ということで、安佐北警察署の生活安全課で話しを聞かせてもらいました。特殊詐欺は安佐北区で29年は14件で、還付金詐欺の9割は高齢者とのことでした。心に残ったのは「自分の身は自分で守る。アンテナは高く」でした。今年の冬は、積雪や突風など自然の脅威に日頃から防災のことも考えておかなければと思いました。

**仁井美智子**  
何か大きな事件、事故が起これば110番通報、と理解していてもいざという時に本当に行動できるのだろうか。今回の可部警察署訪問により緊急時の対応への緊張感がほぐれる気がしました。日々の暮らしの安全、安心を守る為にも正しい対応で犯罪等を減らすよう努力しようと思います。

**田川貴志子**  
暖かな春の日差し、お花見も大いに楽しめたことでしょうか。もうすっかり今年の厳冬を忘れた気分ですが、毎日毎日、雪の朝を迎えたことは、私の可部暮らしでは初めてのことでした。そんな中やっばり楽しませたくれたのは、オリンピックとパラリンピック。トップテンの選手なら誰がとってもしない金メダル。コマゼロ秒、最後の一投、完璧な演技。そのすべてで神様がほほえんでくれたアスリートだけに、もたらされるメダル。世界中のアスリートに幸運が訪れますように。

**皆様の声を募集します!**  
あけぼのでは、幅広く皆様のご意見、ご要望をお待ちしています。身近なこと、分からないこと、最近気になることなど、どんなことでもかまいません。編集部までお寄せ下さい。ご意見は、りんりん可部で受け付けるほか、可部地区社協役員にお渡し下さっても構いません。

**可部地区社協 会計・総務募集!**  
可部地区社協では、ワーキングセルからできる方で、地区社協の会計、総務をお集めしたい。地域に貢献できる、やりがいにあふれたボランティアです。ぜひふるってご応募ください!

**お問い合わせ**  
可部地区社協 会長 勝岡勝也  
TEL 〇八二一八二二二  
可部地区社協 会計 長船賢太郎  
TEL 〇八二一八一五  
一七七六七

### 真心に感謝

次の方々より心のこもった浄財をいただき、感謝を申し上げます。

(平成29年8月29日～平成30年3月31日現在)

### 「香典返しに代えて」

- 西井 清 様 可部2丁目 (水主町)
- 沖増 進 様 可部町勝木 (大野)
- 黒川 尚子 様 可部9丁目 (九品寺)
- 上森 六三 様 可部6丁目 (緑ヶ丘一区)
- 穴村 紳一 様 可部2丁目 (光善坊)
- 渡辺 優子 様 可部6丁目 (緑ヶ丘二区)
- 香川 義治 様 可部東5丁目 (東原)
- 八田 ハルミ様 可部7丁目 (城裏)
- 西川 智恵子様 可部2丁目 (四丁目)

### 「一般の寄付」

- 品窮寺仏教婦人会 可部2丁目 (上ヶ市)
- 神田 和典 様 可部2丁目 (可部駅前)
- 勝園寺仏教婦人会 可部3丁目 (慶安)

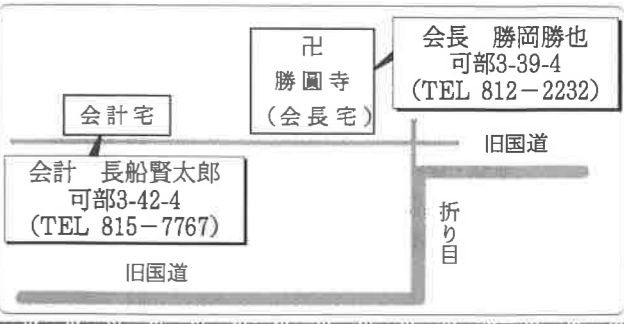
### 皆様へのお願い

可部地区社協は、「弔事規定」により、香典返しの生活改善運動の推進と新たな財源探しに努めております。

平成六年より、地区住民の弔事に際して、可部地区社協より香料二〇〇〇円をお供えし、哀悼の意を表わしております。実施に当っては、町内自治会長様に香典を立替えていただき、領収書と会葬礼状をもって会計室にご請求いただくことになっております。

皆様へのお願いと致しまして、生活改善運動として、典返しに代えてのご寄付を可部地区社協まで宜しくお願い致します。

寄付金は可部地区社協会長宅に持参いただくか、連絡をいただければお伺い致します。



# 人との交流が豊かな人ほど健康になる！

**平成29年度研修会報告**  
 平成30年3月4日に、可部地区社協の研修会が行われました。町内会・自治会長、福祉委員、民生委員児童委員、各種団体の方々が集まりました。講師は、生活支援コーディネーターの上田正之さん。この研修会の内容をお知らせします。

## 暮らし方を自分で決める

これからは一人暮らしや高齢者のみの世帯が増え続けます。認知症の人も増加します。おまけに、そうそう簡単に施設入所や長期入院ができない時代が到来します。私たちは誰でも「家族に迷惑をかけたくない」「できれば家で最後をむかえたい」と思います。そのためには現実を見つめ直し、できる事はやっていく。自分や地域づくりが必要で、まずは、自分の暮らし方、自分で決める、ということ。家族や隣近所に自分の暮らし方を伝えることや、健康寿命を伸ばすために自分自身が具体的に取り組むことが大切です。

①健康寿命をのばす  
 農作業、散歩、家事仕事、趣味、体操、リハビリなど、毎日できる範囲で体を動かす。

②人とのつながりづくり  
 どこで暮らすかを決め、家族と話し合い、仲のいい近所さんにも伝える。サロン、老人会、立ち話でもいいので、最低でも3日に1回は、人と出会って話す。そして困ったときに「応援して！」が素直に言える自分づくり。元気なうちに、何でも話せる仲間を作っておこう。人との交流が豊かな人ほど、健康になります。

③家族と地域のつながりづくり  
 「子どもにも心配をかけたくない」は禁句。少しは心配をかけ、どうするかを話し合っておきたい。「帰ってこい」「顔を見せて」「電話をちょうだい」と、こちらから言おう。



**パソコンをいただきました！**  
 可部地区社会福祉協議会は、株式会社マツダE&Tが行っている社会貢献事業のリユースパソコンの寄贈に応募し、幸運にも当選、1月にパソコンの寄贈を受けました。可部地区社協では、このパソコンをりんりん可部事務所に設置し、今後の事務処理に大いに活用したいと思っています。ありがとうございました。



## 地域に求められたい

地域は「支える」から、「支え合う」。つまり「おたがいさま」が基本。普段の暮らしに、見守る人と見守られる人の関係はないはず。顔を毎日会わず「おなじみの関係づくり」、変だなどと思ったときに、地域の誰かとながっている仕組み作りがポイントです。

ご近所の支え合いは、できそうなことから始めること。話し合ってお互いが納得できたことをやる。普段の暮らしの延長線です。ちょっととした声かけ、サロンなどの小地域での集まり場づくり、ゴミ出しやついででの買い物など、ちょっとした支え合い活動。焦らない、諦めない。この地域の意識と行動が、ここで暮らしたいというみんなの思いを支える、大きな力になります。

## 広がっています！『百歳体操』の輪

健康寿命を伸ばすために、広島市が取り組んでいるいきいき百歳体操。可部でも、次々と百歳体操の会が生まれています。緑ヶ丘2区町内会を中心に、1区3区の方の参加された「白寿の会」もその一つ。筋トレがメインの「いきいき百歳体操」に、のど、口を鍛える「かみかみ百歳体操」、脳トレの「しゃきしゃき百歳体操」を加え、毎週木曜日10時より、緑ヶ丘集会所で活動しています。月に1~2回は、体操の後に保健師や管理栄養士などの専門家を招いて、健康に役立つ講習なども行っています。会費は月100円、いきいき活動ポイントもつき、どなたでも参加できます。



舌をさまざまに動かす、かみかみ百歳体操。誤嚥性肺炎を防ぐ効果があります。



可部地区社会福祉協議会 会長 勝岡勝也

**上田正之さん**  
 地域の社会福祉協議会で永年活動され、広島県社会福祉協議会の事業部長を歴任された後、退職。現在は庄原市地域包括支援課に勤務、生活支援コーディネーターとして活躍されています。「地域福祉の実現は、『そこで暮らす人々のおたがいさまづくり（意識づくりと活動づくり）が最善、最短の方法』が持論。」

## 知ってた?! 団体

可部地区社協は地域のさまざまな団体が所属し活動しています。そんな各種団体をシリーズでご紹介します。  
**第5回 可部地区防犯組合連合会**

可部地区防犯組合連合会(以下防連)は、昭和35年に結成され、先輩諸氏が脈々と続けてこられた防犯活動を継承し、組織の充実と活動拡大を図りつつ現在に至っています。

防連組織は、地区7学区より選出された防連役員39名と、地域安全推進員163名で構成されています。

今取り組んでいるのは、県警本部発表の「減らそう犯罪」県民総ぐるみ運動の平成28年から5年間のアクションプランに基づくものです。「日本一安全・安心な広島県の実現」が目標です。防連の基本方針として

1. 防犯行動が自然にとれる"意識づくり"
2. 互いに支え合う"地域づくり"
3. 犯罪の起きない"環境づくり"

具体的な活動として

- 防犯パトロールの実施  
 地区内を青色回転灯装備車両で、適宜防犯パトロールを実施
- 防犯キャンペーンの計画と実施  
 全国地域安全運動期間などには、地域内の金融機関や大型スーパーなどで防犯キャンペーンを行い、高齢者を対象に詐欺防止のチラシを配るなどの広報活動を実施
- 可部地区にあるJRの駐輪場で、盗難防止のチラシやワイヤーキーを配るなど、2ロック運動を実施。
- 地域で開催される祭礼時における防犯活動  
 神社の祭礼には防犯相談所を開設し、

迷子、落とし物、青少年の補導など、警察官に協力。さらに祭場周辺の防犯パトロールを実施。

- 少年健全育成活動  
 安佐北区内で年1回行う少年健全育成柔剣道大会の計画と実施、薬物乱用防止コンサートのAssistを実施。
- その他の防犯活動  
 子どもや女性、高齢者への被害(特殊詐欺)を防ぐために、防犯教室や防犯講習会などを開催。これらの活動を計画的に推進し、一応の成果は認められています。

宮本昌明会長



金融機関での特殊詐欺防止キャンペーン



## ボランティアバンク りんりん可部

りんりん可部では、日常のちょっとしたお困りごとのお手伝いをいたします。お気軽にご相談ください。

●ボランティア援助のお問い合わせ  
 ボランティア希望登録のお申込み  
 りんりん可部事務局  
 ☎ 082-847-5509  
 FAX 082-815-0756  
 住所 広島市安佐北区可部 3丁目34-1  
 可笑屋(かわらや)2階  
 受付 毎週火曜日、木曜日  
 10:00~12:00  
 13:00~15:00  
 祝日、盆休み、年末年始を除く

●救急医療情報キット配布！  
 救急車を呼んだ時や緊急時、飲んでいる薬や、かかりつけ医院の持病の情報などをシートに記入し、迅速に対応してもらうための「救急医療情報キット」を希望する方に配布しています。地域の福祉委員さんにご連絡いただくか、可笑屋でも申し込みできます。

1組150円(ボトル、カード、ステッカー)  
 キットをお持ちの方も、情報シートが古くなっているかもしれません。新しい用紙をお配りします。

福祉委員さんへお知らせください。



## 追悼



上森厚子さん(享年77歳)

「困っている人は助けてあげたいよね。」が口癖。本当に優しい博愛の精神で、惜しみなく助けの手を差しのべる人でした。ボランティアバンクりんりん可部を束ね、ボランティア会員はもちろん、多くの利用者に慕われました。

昨年10月25日に、永年、可部地区社会福祉協議会地域福祉推進委員としてご尽力いただいた上森厚子さんが永眠されました。上森さんは、平成22年に可部地区ボランティアバンク「りんりん可部」を立ち上げられました。りんりん可部のまさしく顔として、パンクの運営活動に、熱心に力をそそがれ、近年では、安佐北区内はもとより、旧市内の社協にも出向され、ボランティアの活動こそ福祉の原点であることを、身をもって実践された方でした。

あるとき、外出先から帰ったら、上森さんがバイクから降りて、私に封筒を手渡されたことがあります。「わざわざあなたに配った。配ってくださるのですか」と尋ねました。すると、「登録会員(約40名)みんなの所へ、一通ずつ配達します」と、にこやかに言われて、次の所に向かわれたのです。この気持ちが大変なのだと、私自身、大いに感動し、感謝もいたしました。

福祉の原点は、自らが動き、他の人のお世話をすること。この考えが必要であること。上森さんの志は、私たちがしっかりと受け継ぎ、福祉の街づくりに精進して参ります。

みほとけに抱かれて  
 君ゆきぬ 花の里  
 つきせざる たのしみに  
 笑みたもう うれしきよ  
 合掌

可部地区社会福祉協議会 会長 勝岡勝也